Takashi Morimoto

第31号

発行人: 森本 隆 〒619-0224 京都府木津川市兜台7-16-23 TEL.090-4906-1007 [発行:2025.10]

GREETING

平素は、森本たかしNEWSをご愛顧いただきありがとうございます。

ごあいさつ 5月の臨時議会にて、所属委員会の変更がありました。後半2年間、産業建設常任委 員会委員長、相楽中部消防組合議員、都市計画審議会委員にて活動をしていきます。

引き続き、ご支援よろしくお願いします。

研修報告

本年8月に、子ども向け施設「JUNOPARK」がオープンし ました。アクティビティは、小中学生対象ですが、カフェ (90席)は誰でも喫茶等可能です。手作りドーナツが好評 です。是非、お立ち寄りください。

新風コスモスの会

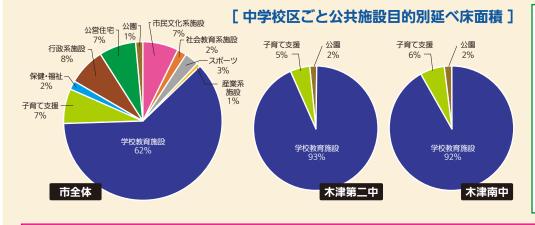




公共施設等管理計画の進捗を考察する

公共施設統廃合の先進自治体、福知山市を見習って、 中学校区ごとに、公共施設のマッピングを実施。

中学校区	人口	公共施設面積(m2)	1人当り(m2)	学校施設数	子育て施設	図書館	公民館・ホール
木津	22,528	88,169	3.91	4	11	1	3
木津第二	17,574	31,489	1.79	4	4	0	0
木津南	19,032	32,037	1.68	3	4	0	0
泉川(加茂)	12,316	57,998	4.71	4	6	1	5
山城	7,670	28,402	3.70	3	4	1	1



現状課題

- ①公共施設を30年間で28% 削減する計画未達。H29 ~R8 [目標] 8% ⇒ [実 績] 1.7%
- ②木津第二中、木津南中学校 区は、8年前と変化なく、こ の地域は約2倍の地域格差 がある。公共施設の98% は学校教育施設、子育て施 設であり、偏っている。

市への提案

おり、充足していると考えている。

①木津第二中、木津南中学校区は、少子高齢化が進む中、学校教育施設、子育て施設を複合化施設に転用 し、地元の方も活用できるコミュニティセンター等の機能を設置すべき。

> にも、面積の広さなどの差異も人口こと、中学校区単位では、人口以外 ぞれのまちづくりを引き継いでいる

整理し、

、統廃合、

、転用により、

地

域

格

差を是正する考えはあるの

A 総務部長

地域格差は、旧町そ

中学校区ごとに、

、公共施設の実態を

である。

ら変化はなく、

、地域差は残ったまま

度か訴えている。しかし、8年前か

にて公共施設

の地域差の

是正

を何

Q 森本隆

平成29年から、

般

②高の原幼稚園跡地は、木津西地域にない子育て支援センターとコミュニティセンター

の中で、

、地域差を是正して欲しい。

1

○森本隆 今後、いろいろな統廃

-位で調整することは困難である。

複合施設に活用すべき。

度の利用実績がある。 が、大体年間平均で、4, 支援センターは、 がら判断していく。 ・後、就学前の子どもの状況を見な 市 内

4

か 所

ある

0 0 0

人程

も園は、兜台こども園になるが、こ ども園では、相談支援機能を有して 兜台近隣のこど

えるが見解は。 子育て支援センターが木津南 木津地域の使用実績が少ないの Aこども未来部長

で移動しないといけないからだと考 見台)まで通う必要がある。 支援センター」についても地域差が にあり、木津第二中学校区からは車 台、木津川台)は、木津東部地 あり、特に木津西部地域(兜台、相楽 にとって重要な取組である「子育て 「子育て支援No. を掲げる市 域 泛校区 は 州

1

高の原幼稚園跡地利用を問う

美間(一般質問

果たしていると考えている。 丁目には、大型マンションが建設 Q 森本隆 きある中で支援センター機能を 内全域もしくは市外からの利 高の原駅前、相楽台1

されて、約700人の方が入居さ

れている。今後、同じ規模の大型マ

制度のときは、どのように対応す 年度から始まる、乳児等通園支援 相楽台保育園の対応も含めて、来 Aこども未来部長 来年4月から ンション建設が予定されている。

ろな意見をもらっている。

いろい

現 置していく。 子育て支援施設の中で適正に配 いても、現況の保育施設、もしくは 始まる乳児等通園支援事業につ (在、3期の子ども・子育て支援

今後5年間の見込み量、供給量 〇森本隆 先月、高の原幼稚園 握する中で判断していく。 跡 を 事業計画を策定している。

2階の遊戯室は、エアコン完備で、 の視察に行ってきた。 な場所であることが確認でき 育て支援、つどいのひろばに最

た。活用については。

特に、複合施設化が世の中のト

、ドだと思うが、市長の考えは。

する。

設化して、高の原小学校内に設置 3つ目が、高の原小学校を複合施

の利活用を図れるかという課題が それ以外の保育室など、施設全体 としては面積的には適合するが、 Aこども未来部長 支援センター

状況であり、方向性を定めていき 兜台地域の方に意見を聞いている

と聞いたが、暑い夏を過ごすため るアイデアもあると思うが。 には、高の原幼稚園跡地に移転す は、エアコンが完備されていない Q 森本隆 高の原児童クラブに

は

今後、人口

ている。

している。

いきたい。

いる。 高 て、スポットクーラーで対応して A こども未来部長 児童クラブは、 の原小学校の一部を借りてい

ミュニティセンター等々、 定した新たな拠点活用は慎重に 考える。地域長自治会を中心に、 A 市長 Q 森本隆 どもから高齢者が集えるコ ては、子育て支援センターに限 高の原幼稚園跡地につ 谷口市長の考えは。

年度中に在り方について検討し ていく。 Q 森本隆 元の意見を聞きながら、令和7 子育て支援センター

> が負担する。 予算は、上限10 ことが目的。

00万円まで国

Q 森本隆

事業主体の三井住

友

ている。 1つ目が、 校区では、3つの案があると思っ の場所については、木津第二中学 今ある高の原幼稚

跡地。 に、イオン内に設置する。 2つ目が、 おける、高の原イオン増床 高の原イオンの再開

全中・小学校について整備を進め 学校の在り方を教育委員会で検 方、体育館の空調については、 地域の拠点の想いがあるの 市長学校施設の件は、小・中 いろいろな観点で検討して 減少の中、学校施 設 -の利用状況>

<子育て支援センタ

中学校区	全年齢人口	0~4才人口	割合	子育て支援センター	対象人数	使用実績(回)	年間1人平均
木津	22,528	1,158	41%	×			
木津南	19,032	919	32%	○ (州見台、梅美台)	2,467	12,132	4.9
木津第二	17,574	390	14%	×			
泉川(加茂)	12,316	196	7%	○ (加茂)	196	3,245	16.6
山城	7,670	172	6%	〇(山城)	172	3,767	21.9
合計	79,120	2,835	100%		2,835	19,144	6.8

考えている。

は、もっとAIを活用すべきだと

Q 森本隆

市のDX推進について

カルテを作成する等、取り組んで A建設部長 今年度、試験的に樹木 建設と連携して進める日程は。

C h イしており、継続して取り組んで にも期待している。 また、ChatGPTを使って、 ことが必要である。 精度が上がることで効率を上げる 使って自動化する。自動化と診断 等、今まで人が見て、触って、判断 断、上下水道のメンテ時期の診断 今回のように、樹木診断、道路 していたものをカメラとAIを

A 市長 は、遊具、照明灯、水道等の横展開 atGPTについても、トラ 今回のDXの取り組

> もりもと たかし] 隆

議事録作成の効率化が必要では

新風コスモスの会所属

1959年 大阪府生まれ/1997年から兜台7丁目在住 大阪府立茨木高等学校卒業/京都工芸繊維大学 機械工学科卒業 元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]/木津川市議会議員(2015年~)

議会役歴 市議会議長(2021年~2023年)/産業建設委員会委員長(2025年~) ●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)

●東日本大震災「はじめの一歩コンサー -ト」を主催 (2011年から5回実施:於 高の原)

[家族]妻と一男一女 [趣味]写真撮影、旅行、ゴルフ

https://takashi-supportclub.net/

morimoto077473@clock.ocn.ne.jp





多くの樹木を効率的かつ省力的 を活用し、市内の公園緑地にある

に診断し、倒木リスクの高い危険

録に基づく樹木台帳を整備する 木を抽出すること、また、診断

高の原幼稚園跡地、エアコン完備の遊戯室等、活用できる設 備が多く、子育て施設等での活用が必要。





携モデリング事業について、民間

業者が保有するデジタル技術

A 建設部長

民間提案型官民

Q 森本隆

事業の内容は。

2

公園緑地の DXの取り組みは

▲ 遊戯室(2F)

◀ 旧園庭の遊具等